

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームマチナト くくる

作成日 : 平成 25 年 3 月 18 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が2ヶ月に1回以上(または年6回)できていない。	2ヶ月に1回又は年に6回の運営推進会議の開催をしっかりと計画し、地域の人との交流の場を広げる。	まず、年頭に大まかな開催予定を立て、それに準じた計画で、実行できるようにする。確実に地域の方々の参加を得るために、自治会への広報活動も行う。	12ヶ月
2	6	「身体拘束の禁止」を謳い、職員との共通認識できるように徹底し、家族への理解は得ているが、「緊急やむ得えない場合の拘束」が曖昧な表現なり、実質的に拘束となっていることがあり、身体拘束排除に向けての取り組み状況や経過の記録の整備をする。	職員への「身体拘束のゼロにむけて」研修等を行い、改めて拘束の必要性を検討し、必要とされた場合はモニタリング等を観察評価をすることで、必要性のない拘束が排除できる。	職員全体に身体拘束についての研修。研修をへて、拘束している内容についての必要性を検討し、排除してけるように取り組んでいく。また、その内容についても記録をし、継続的に実践できるようにする。	6ヶ月
3	35	現存する災害時マニュアルの再検討し、常時、備蓄品の明細や点検の徹底化。消防訓練の年2回実施し、実施記録をしっかりと残し、整備する。	災害時マニュアル内容を職員全体で再検討することで、内容を熟知し、年2回の消防訓練を徹底し周辺住民の参加を促す。	職員全体でマニュアルを確認し、検討し、備蓄物品等の防災についても検討する。年間計画の消防訓練も計画し、確実に実施できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。